

1. 科目名 (単位数)	日本語学概論 (2単位)	3. 科目番号	EJJP1121
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	日本語についての幅広い知識を得るため、日本語の特徴について学ぶ。世界的にみて日本語はどのような言語であるか、概要を理解した上で、世界における日本語の地位、日本語の文法、音声・音韻等、これから日本語教育を学ぶための入門として必要な知識を習得する。		
8. 学習目標	日本語はどのような言語か、幅広い知識の習得を目指すため、以下の点から日本語を捉える。 1. 日本語の特徴について概観できる。 2. 世界の言語の系統から日本語はどのような言語か理解できる。 3. 世界の言語の類型論から日本語はどのような言語か理解できる。 4. 対照言語研究からみた日本語がどのような言語かわかる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 授業内で配布する予習ノートの語句を調べる。(2点×10回) 2. 課題で調べたことを授業で発表する。(2点×5回) 3. 期末テストの前に復習用ワークシートを配布する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 随時、授業内でプリントを配布する。 【参考書】 原沢伊都夫『入門言語学』スリーエーネットワーク、2017 窪菌晴夫『よくわかる言語学』ミネルヴァ書房、2019 庵功雄『新しい日本語学入門』スリーエーネットワーク、2012 鈴木孝夫『閉ざされた言語・日本語の世界』新潮社、2017		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 世界の言語の系統や類型から日本語はどのような言語か説明できるか。 2. 対照言語研究から日本語は他の言語とどのような違いがあるのか説明できるか。 ○評定の方法 授業への出席・授業態度、日常の課題や発表、期末試験等を総合して評価する。 1 授業への出席・授業態度 総合点の30% 2 課題・発表 総合点の30% 3 期末試験 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	言語とは何か、言語学とはどんな研究分野なのかを理解することにより、日本語の特徴をより深く知るきっかけとしてほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (学習の進め方、課題、評価方法)	事前学習	シラパスを読み、講座の概要を理解する。
		事後学習	スケジュールに沿って学習計画を立てる。
第2回	言語の特徴と機能、言語学の歴史	事前学習	言語に関する文献や資料を読む。
		事後学習	新しく学んだことを整理する。
第3回	世界の言語 (語族と系統)	事前学習	言語学に関する文献や資料を読む
		事後学習	新しく学んだことを整理する。
第4回	日本語の起源	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第5回	日本語の類型	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第6回	日本語の音韻論的特徴	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第7回	日本語の形態論的特徴	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第8回	日本語の統語論的特徴	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第9回	日本語の意味論的特徴	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第10回	日本語の語用論的特徴	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第11回	音声学1 (母音と子音、調音点と調音法)	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第12回	音声学2 (アクセント、イントネーション)	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第13回	日本語の文化的特徴	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことをノートに書く。
第14回	期末テストの範囲と形式についての説明 復習ワークシートの解説	事前学習	ワークシートに記入する。
		事後学習	解けなかった問題について復習する。

第15回	学習項目の総復習	事前学習	疑問点などを整理する。
		事後学習	学習したことを確認する。
期末試験			